

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地区敬老行事支援事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の市民	意図	住んでいる地域で敬われ、穏やかな生活が送れるようにする。引きこもりを防止する。
事業内容	地区の高齢者を敬い、敬老思想を啓発する小学校区を単位として敬老行事を自発的に行っている地区社会福祉協議会に対し、側面から支援するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	事業開始当時は市が主催で実施していたが、高齢者人口の増加に伴い文化会館での開催が難しくなったため、平成4年から市社協に委託し、各地区社協単位での開催となった。地域の特性を活かした敬老会を実現するために、平成15年度からは市内15地区社協の主催となった。平成28年度からおたかの森小学校区が新たに加わり16地区社協となった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	地区社会福祉協議会敬老行事開催数	416	365	337	回	↑↑↑	
②	行事参加者数	18,229	19,215	18,476	人	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 各地区社会福祉協議会が創意工夫し、地域の実態に合った催し物を開催している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,858,000	3,832,400	3,823,400				
事業費(b)(円)		2,485,000	2,490,000	2,505,000	地区敬老行事のうち、いきいきサロンは高齢者の集いの場を提供しており、地域の高齢者の介護予防、健康長寿及び生きがいづくりの側面もある。			
うち一般財源		2,485,000	2,490,000	2,505,000				
職員給与費(c)(円)		1,373,000	1,342,400	1,318,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	地区社会福祉協議会に対し、報償費を支給し、地域での敬老行事開催を支援する。	③取組における課題(Check)	地区社会福祉協議会主催又は共催の敬老行事は減少傾向にある。また、地区社協ではスタッフ確保に苦慮している現状がある。
②H30に実施した取組(Do)	地区敬老行事を開催した全16地区社協に対して報償費を支給した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	地区敬老行事が活性化するよう今後のありかたについて研究していく。